

年月日	平成 28 年 5 月 23 日
作成部局	関西広域連合広域防災局 兵庫県防災企画局・災害対策局

平成 28 年熊本地震への対応

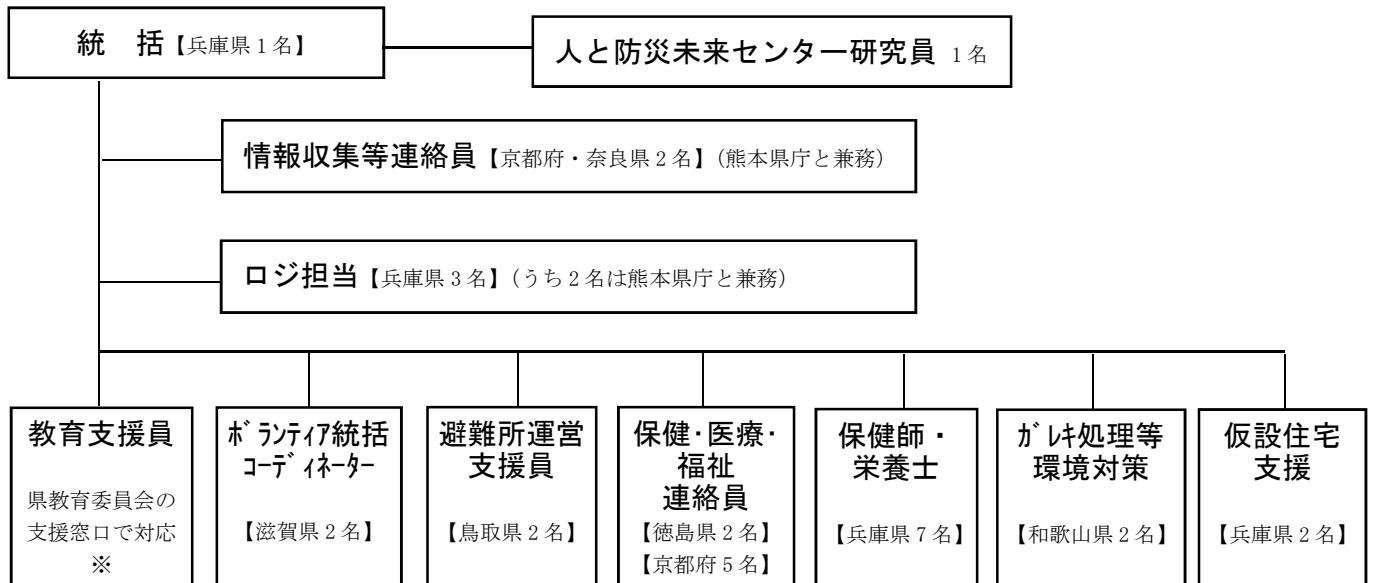
1 平成 28 年熊本地震における支援チーム(第 6 陣)の派遣

益城町に対し、支援チーム第 6 陣を派遣する。

(1) 派遣期間

5 月 25 日(水)～6 月 1 日(水)

(2) 派遣の体制



※ 教育支援員については支援体制を検討中。

【参考：過去の派遣状況】

区分	派遣日	内容
先遣隊	4/14(木)～4/20(水)	・現地情報収集のため、兵庫県職員を先遣隊として派遣(3名)。※4/14(木) 23:00 出発
第 1 陣	4/20(水)～4/27(水)	・経験者を中心に兵庫県職員を派遣(21名)。
第 2 陣	4/27(水)～5/ 4(水)	・関西広域連合の支援チームとして分野別に各構成団体に担当を定め派遣。 ・新たに「仮設住宅支援」チームを設置。
第 3 陣	5/ 4(水)～5/11(水)	・食事面での健康対策を強化するため、「保健師」チームを「保健師・栄養士」チームに改編。 ・学校再開に伴い「教育支援員」チームの派遣を中断
第 4 陣	5/11(水)～5/18(水)	・避難中の要介護者、在宅高齢者等への対応を進めるため、「保健・医療・福祉専門員」チームに京都府から保健師等を追加派遣。
第 5 陣	5/18(水)～5/25(水)	・学校再開後の応急教育や心のケア、避難所と学校教育の円滑な運営について助言・支援を行うため、「教育支援員」チームの派遣を再開。

2 家屋被害認定士等の派遣

(1) 家屋被害認定士

5 月中に家屋被害認定業務を終了させ、罹災証明業務を早期に実施できるよう、益城町に職員を派遣。

派遣者数：2名(姫路2名) ※関西広域連合全体で12名派遣

派遣期間：5月21日(土)～5月27日(金) ※1週間単位で継続して派遣

(2) 避難所運営支援等職員の派遣

今なお避難所生活を余儀なくされている避難者の避難所自主運営に向けた支援など被災者支援を実施するため、益城町に職員を派遣。

避難者数：3,275人(5/19時点)

派遣者数：6名(豊岡2名、養父2名、香美2名)※関西広域連合全体で44名派遣

派遣期間：5月18日(水)～5月25日(水) ※1週間単位で継続して派遣

3 被災者の受け入れ

県営住宅(一時避難所)の提供状況(5月20日現在)

・問い合わせ件数：45件(うち申請書送付11件)

・受け入れ件数：2件

※参考 県下市町受け入れ件数(5月20日現在)

神戸市営：9件 西宮市営：1件 宝塚市営：1件

[参 考]

職員派遣状況

(5月23日現在)

府県名	現地支援 本部 (熊本県庁)	益城町連絡所			大津町連絡所			菊陽町連絡所		計
		チーム 派遣	避難所運 営要員等	被害認 定要員	連絡 員等	避難所運 営要員等	被害認 定要員	連絡 員等	避難所運 営要員等	
滋賀県		2人	6人							8人
京都府	チーム連絡員兼務	6人	9人	2人						17人
大阪府					1人	9人	9人			19人
兵庫県	チーム統括及び「ポン」 担当が兼務	14人	6人	2人						22人
奈良県	チーム連絡員兼務	1人	2人	2人				1人	3人	9人
和歌山県		2人	7人	2人						11人
徳島県		2人	8人	2人						12人
鳥取県		2人	6人	2人						10人
合 計		29人	44人	12人	1人	9人	9人	1人	3人	108人

※市町職員を含む(派遣先計：益城町85人、大津町19人、菊陽町4人)

4 被災地の課題と対応状況（益城町）

益城町の家屋被害数に被害認定（調査中）の結果が反映されたため、被災地で全壊家屋数が最も多いことが明らかとなった。

（①益城町 3,912 棟、②熊本市 1,873 棟、③西原村 344 棟）

課 題	現 状	支援状況
避難生活長期化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者数 3,223 人 (5/22) ・総合体育館のアーリーナの補修が完了し、車・テント生活者等 650 人を収容する予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健・医療・福祉連絡員」チーム、「保健師・栄養士」チームの派遣（避難者の健康管理、要支援者支援）
要支援者対策	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅者訪問調査を実施中 ・町が「保健・医療・福祉チーム」を設置し、要支援者の把握・支援、町の保健事業再開準備を実施中 	
ボランティアとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町社会福祉協議会等がボランティアセンターを設置して対応中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア統括コーディネーター」チームの派遣（ボランティアコーディネート支援）
被災者支援		
家屋被害認定	<ul style="list-style-type: none"> ・5月中に1次調査を完了見込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次調査要員を派遣中 ・2次調査への支援要請があれば専門職員の派遣を検討
り災証明書発行	<ul style="list-style-type: none"> ・2,512 枚交付 (5/22 現在) ・2次調査希望 306 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・発行窓口業務支援を実施
支援金、義援金、弔慰金等受付・支給	<ul style="list-style-type: none"> ・5月23日開始 ・支援内容のパンフレットを配布中 	
住まい対策		<ul style="list-style-type: none"> ・「仮設住宅支援」チームの派遣（入居者募集・入居手続支援） ・住宅相談等の支援を実施
仮設住宅建設	<ul style="list-style-type: none"> ・当面 1,200 戸整備予定 ・747 戸着工 	
住宅相談	<ul style="list-style-type: none"> ・みなし仮設申込 31 件 (5/22 現在) 	
仮設住宅受付	<ul style="list-style-type: none"> ・申込数 702 件 (5/22 現在) 	
住宅応急修理	<ul style="list-style-type: none"> ・22日開始 2件 	
倒壊家屋撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・全壊・半壊家屋の公費解体が決定 ・熊本県で解体費単価、委託先（建設業協会、解体工事業協会）を調整中 ・仕様書、契約書等は県が支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ガレキ処理等環境対策」チームの派遣（処理体制構築支援）
ガレキ処理	<ul style="list-style-type: none"> ・県が2次仮置場運営、分別、リサイクル等を担当 ・町が公費解体、仮置場への運搬を担当 	
農業を中心とする産業復興	<ul style="list-style-type: none"> ・益城町はスイカ、メロンの一大産地で、<u>現在スイカの出荷最盛期。一部農家は避難所から通いながら対応しているが、出荷は順調。</u> ・<u>全国のJAから支援隊が入っており、当面応援は不要。</u> ・<u>(イモの産地である西原村では、イモの作付けを全国のJAと農業復興支援ボランティアが支援中)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、要請があれば追加支援を検討

【別添 1】 熊本地震支援派遣チーム名簿 [第 6 陣]

1 派遣期間

平成 28 年 5 月 25 日(水)～6 月 1 日(水) [7 泊 8 日]

[派遣先：益城町現地連絡所]

2 派遣者

現区分	氏名	所属・職名	備考
統括(1名)	山田 聖一	兵庫県道路公社 理事長	元・東日本支援本部事務局(被災者支援参事) 平成 21 年台風第 9 号災害支援派遣経験者
人と防災未来センター(1名)	松川 杏寧	人と防災未来センター研究員	
情報収集等連絡員 (2名)	京都府(1名) 奈良県(1名)		熊本県庁兼務
ロジ担当(3名)	首藤 充良	洲本土木事務所 河川砂防課長	平成 21 年台風第 9 号災害支援派遣経験者
	田口 修由	県土整備部総務課 主幹(経理担当)	
	東 裕章	広報課 主査	東日本派遣経験者
ボランティア総括コーディネーター (2名)	滋賀県(2名)		
避難所運営支援員 (2名)	鳥取県(2名)		
保健・医療福祉連絡員 (7名)	徳島県(2名) 京都府(5名)		
保健師(4名)	上坂智洋子	洲本健康福祉事務所 課長補佐(健康管理担当)	東日本派遣経験者 5/23 派遣
	関 めぐみ	龍野健康福祉事務所 課長補佐	
	野口 円	疾病対策課 主査	5/23 派遣
	橋本 彩	宝塚健康福祉事務所 職員	
栄養士(1名)	廣岡 雅代	明石健康福祉事務所 課長補佐(健康管理担当)	東日本派遣経験者 5/23 派遣
支援員(2名)	鳥田 信次	社会福祉課 主幹(地域福祉担当)	5/23 派遣
	田尻 剛	産業政策課 職員	
ゴミ処理等環境対策 (2名)	和歌山県(2名)		
仮設住宅支援 (2名)	西宮市(2名)		

計 29 名 (うち本県 14 名、関西広域連合構成府県 15 名)

【別添2】 関西広域連合の対応

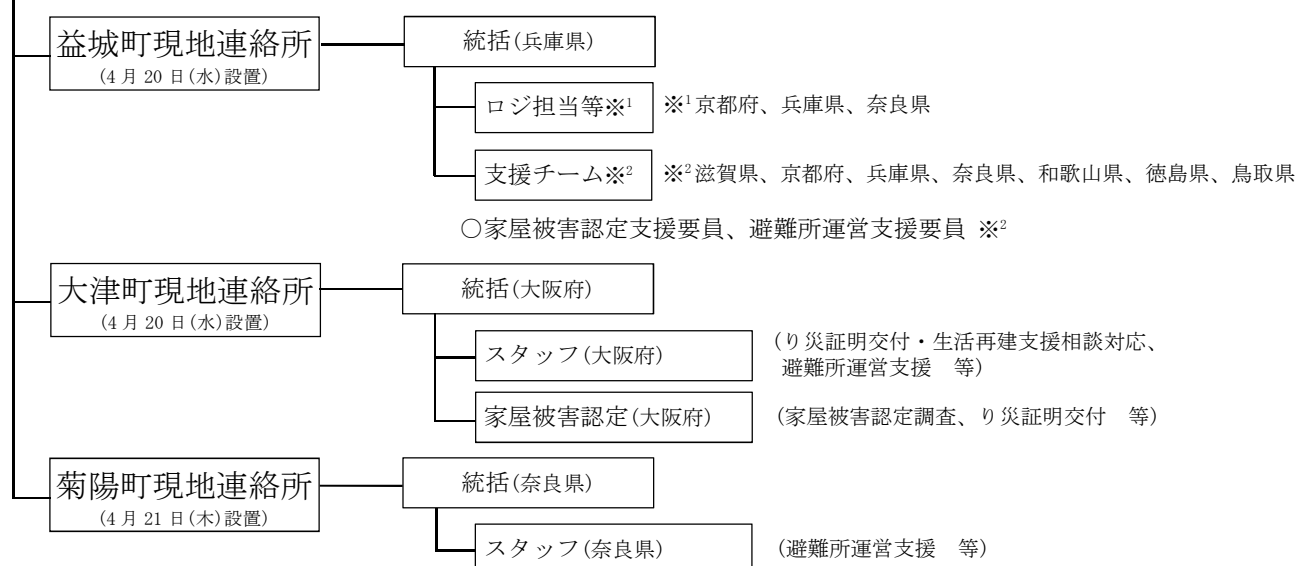
1 対応体制

連合長を本部長とする災害対策支援本部を設置し、関西広域連合の全力をあげて被災地支援を実施。

平成28年熊本地震災害対策支援本部 (4月20日(水)設置)

本部長：井戸連合長（兵庫県知事）
 副本部長：仁坂副連合長（和歌山県知事）、荒井広域防災副担当委員（奈良県知事）、久元広域防災副担当委員（神戸市長）
 本部長員：三日月滋賀県知事、山田京都府知事、松井大阪府知事、飯泉徳島県知事、平井鳥取県知事、門川京都市長、吉村大阪市長、竹山堺市長

現地支援本部 (熊本県庁、4月16日(土)設置)



※京都市、大阪市、堺市、神戸市は指定都市市長会の調整で熊本市を支援

2 対応状況

- 4月14日 (木) 21:26頃 前震発生
- 21:40 災害支援準備室設置 (室長：防災計画参事)
- 23:00 先遣隊3名出発 (隊長：広域企画課長)
- 4月16日 (土) 1:25頃 本震発生
- 2:00 災害支援室及び応援・受援調整室設置(室長：広域防災局長)
- 6:00 現地支援本部設置
- 14:00 「熊本地震災害支援会議」開催
(構成団体防災監、危機管理監等出席)
- 4月20日 (水) 「平成28年熊本地震災害対策支援本部設置」
益城町現地連絡所設置
大津町現地連絡所設置
支援チーム(第1陣)を益城町に派遣
避難所運営要員の派遣を開始
- 4月21日 (木) 菊陽町現地連絡所設置
- 4月27日 (水) 家屋被害認定要員の派遣を開始

【別添3】 熊本地震と被害の概要

1 地震の概要（気象庁調べ。最大震度6強以上・マグニチュード6.5以上の地震）

- 発生日時 平成28年4月14日（木）21時26分頃
- ・震源地 熊本県熊本地方（北緯32.7度、東経130.8度）
 - ・震源の深さ 約11km（暫定値）
 - ・規模 マグニチュード6.5（推定値）
 - ・各地の震度（震度6強以上）
震度7 熊本県：益城町
- 発生日時 平成28年4月16日（土）1時25分頃
- ・震源地 熊本県熊本地方（北緯32.5度、東経130.1度）
 - ・震源の深さ 約12km（暫定値）
 - ・規模 マグニチュード7.3（暫定値）
 - ・各地の震度（震度6強以上）
震度7 熊本県：益城町、西原村
震度6強 熊本県：南阿蘇村、熊本市中央区、熊本市東区、熊本市西区、菊池市、宇城市、合志市、大津町、宇土市、嘉島町

○地震発生回数

震度1以上 1,545回（5月22日現在）
うち震度4以上 106回

2 被害の状況

区分	人的被害(人)				建物被害(棟)		避難者数(人)	時点
	死者	重傷	軽傷	行方不明	全壊	半壊		
熊本県	69	1,676		1	92,736 (一部損壊を含む住家被害)(調査中)		9,100	5/22 13:30
福岡県		1	17			1		
佐賀県		4	9					
大分県		4	23		1	30		
宮崎県		3	5			2		

※熊本県：第69報

※その他：総務省消防庁調べ（5月20日 9:00）

3 広域連合が支援中の市町の被害状況

区分	人的被害(人)				建物被害(棟)		避難者数(人)	時点
	死者	重傷	軽傷	行方不明	全壊	半壊		
益城町	21	6	3		3,912	3,040	3,223	5/22 13:30
大津町		3	9		103	707	191	〃
菊陽町		3	15		13	272	79	〃
熊本市 (参考)	14	254	943		1,796	6,981	2,487	〃

※熊本県（第69報）より